

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日	令和 6 年 3 月 27 日	
②法人・団体名	高槻つばめ学習会		
③所在地	〒569-1121 高槻市真上町 1-10-6		
④責任者氏名	大西幸夫(茶山敬子より交代)	(役職名等)	代表(申請時は副代表)
⑤担当者氏名	大西幸夫	(役職名等)	代表

【奨学活動の概要】	⑥助成交付決定番号	R05-011	⑦助成金額	30 万円	⑧申請カテゴリー	B
⑨奨学活動名	経済的な理由で通塾出来ない生徒への無料学習支援活動					
⑩主な実施場所	高槻市城内公民館など					

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

- ①毎・土曜日の学習支援（午後 1 時～5 時）
- ②教材、模試代、英検受検料などの援助
- ③PC・タブレットの貸し出しによるオンライン学習対応、Cloud を活用したオンライン連絡帳の活用
- ④保護者へのサポート（学習相談、情報提供）
- ⑤外国ルーツの生徒の進学支援(英検準 1 級の取得サポート)
- ⑥高校生へのサポート（居場所・自習スペースの提供、学習アドバイス、進学・進路の情報提供）
- ⑦不登校生への戸別訪問対応

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	657	4	2,628	
高校生等	53	3	159	
大学生等				
学習支援員等	727	5	3,635	
その他	202	4	808	23 年 3 月より、新小 6 が参加
合計			7,230	

⑬その他の定量的な数値（任意）

上記の内数（延べ数）で、特別指導(主に日曜授業) 小学生 18 中学生 144 高校生 10 講師 80

令和5年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：経済的な理由で通塾出来ない生徒への無料学習支援活動

法人・団体名：高槻つばめ学習会

作成者 氏名：大西幸夫

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

- ①定例の土曜学習会の円滑な運営⇒講師増員による個別指導の安定的拡大
- ②フードパントリーや親子の料理教室など関連団体との連携強化
- ③経済的に、より困窮した層への生徒勧誘活動の実施

2. 実施した奨学活動の詳細

◎檜の芽会助成金で購入したiPad(全3台) ZOOM 授業で適宜活用



◎理科教室 適宜開催 動く恐竜やシンセサイザーなど



◎小6生への英語・算数 授業 中学へのスムーズな移行



◎ 普段の授業風景



◎ フードパントリー パン(buurさんの協力)・カレー(藤カレーさんの協力) 適宜実施



2023年7月16日 親子ピザ教室(buur中村さん・高槻市ひとり親家庭福祉会との連携)



2023年8月26日・9月2日 大阪医科薬科大・看護学部生との懇談・展示物作り



2023年11月11日 小6生のハンバーガー作り 学習中の中学生にも提供



◎日曜学習会 定例土曜学習会の補習や生徒の自習の場を提供



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

◎定例の土曜学習会の授業だけでなく、広く生徒や保護者との親睦、関連団体との連携を深める事が出来た。

◎「生徒の家庭での自習習慣の獲得」のためになる、色々な視点での指導の在り方を検討したい。

貴会助成で購入した iPad(写真添付)を ZOOM 授業のみならず、家での自習ツールとして活用することをやる気のある生徒には働きかけていく。

◎定例学習会は英・数を基本にしているが、学校提出物(英数以外)をこなすことに追われることもあり、講師のモチベーションを殺ぐ可能性があり、指導方針を明確にしたい。

◎SNS での保護者連絡網は確立出来ているが、中3生については保護者面談・2 者面談の実施も検討したい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等 (任意)

◎生徒の個性や能力は、学習会だけでなく、課外のゲーム遊びなどで新しい発見をすることが多い。

そうした発見を学習会での指導に生かせることが当会の特色でもある。

◎行政でも的確な対応が出来ずに、当会に駆け込むようなケースが徐々に増えている。

発達障害を抱えた生徒に対する対応が求められることがあるが、あくまで素人のボランティア団体でもあり、専門家との連携が課題である。

5. 学識者からのご意見、コメント、等 (申請カテゴリーにて「S」が付されている団体)